ブルゴーニュ大学 CIEF　月例報告書　4 月

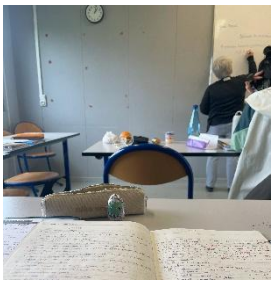
鈴木りょう

4 月の後半は、二週間ほどのバカンスがあり様々なところに行く機会がありました。どこかから帰ってきてディジョン到着するたびにとても安心するほどこの街での生活が自分に馴染んできたのだと思います。留学の前は 8 か月もあると思っていましたが、段々と折り返しにも近づいてきているのでより一層今の時間を大切にして生活していきたいと思います。

テスト

バカンスが始まる前に、ここまでの授業内容のテストがありました。リスニングと読解、作文の三つのテストを受けました。これまでも何度かテストを受けてきましたが、段々と内容も複雑になってきているので学期末テストに向けて勉強を進めていきたいです。

また、今月はイースターがありました。学校に行ったら先生が卵型のチョコをくれたり、寮の受付でもチョコをもらったりしました。また、街中のパティスリーやチョコレート屋さんがイースター仕様になっていて日本では見ることができない光景でした。



現地の人との交流

学校にはフランス人は先生だけでフランス人と話す機会は少ないです。ディジョンにある日本料理屋さんで週に一回、現地の人と日本人が交流する会が開かれています。その会に参加し、現地の方とお互いの文化や趣味、ディジョンのおすすめの場所についてなど様々なことについて話しています。日本に興味を持っているフランス人が集まるため、日本の文化や社会について質問されたり、二つの国の文化を比較して文化の違いについて会話したりしています。なぜ？という質問が多く出てきて、日本の文化についての質問にもかかわらず、すんなりと答えられないことがあります。そのたびに何で日本の文化はこうなっているのかを考えることができます。交流会はフランスの文化を知ると共に日本の文化について考える機会にもなっています。また、先輩が主催しているフランス人との言語交流会にも参加しました。どちらの交流会でもまだまだネイティブの人との会話が思うようにできないと感じます。いろんな人と話す機会を増やしていきたいです。

バカンス

バカンス中はリヨンとロンドンに行きました。その他の日には寮で過ごしたり、今まで回れなかったディジョンを散策したりして過ごしました。

リヨンでは、リヨンの名物料理ブションを食べたり、大聖堂や旧市街地などを回ったりました。フランス第二の都市や美食の街といわれるリヨンにはおいしい料理や昔の街並が残っている地域も多くとてもよい街でした。すべてを回れなかったのでまた訪れたいと思いました。

↑　リヨン名物　ブション

↑ベルクール広場

ロンドンにはパリから出ている電車に乗って 2 時間 30 分ほどで到着し、様々な観光地を巡りました。名物のフィッシュアンドチップスを食べたり、アフタヌーンティをしたりとロンドンの文化を経験することができました。帰りには交通トラブルがあり、帰宅が予定よりも遅くなりました。予定とは異なる旅行にはなりましたが、トラブルがなかったらできなかった経験もあったのでいい思い出になりました。

今月は様々なところを訪れる機会がありました。バカンスが終わると学校が再開するのでまたフランス語の勉強に集中していきたいです。